2019年2月19日 パソコンを使いこなす会

# Windows 実用講座

【第21回分科会のテーマ: - 即効テクニック -】

今回は、Windows10を効率よく使うためのテクニックを勉強します。

Windowsでよく使うエクスプローラーの表示形式の整理、更新日付による絞り込み、登録済み拡張子の表示、 隠しフォルダーの表示によってファイル・フォルダー操作の効率化を図れます。

普段よく使うアプリがWindows起動時に立ち上がるように登録しておけば使い勝手が向上します。一方、Windows起動時に働くGUIブートを無効化しておけば、わずかでも起動時間を短縮できます。

IMEの変換操作を省いて自動的に変換・確定するようにしておけば長文の日本語入力が効率化します。

Windowsの操作で、数回のマウスクリックの代わりにキーボードを使ったショートカットを覚えておくと格段に速い操作ができます。

時にIME言語バーがデスクトップにもタスクバーにも表示されないときがあります。これを復活する方策を整理しました。

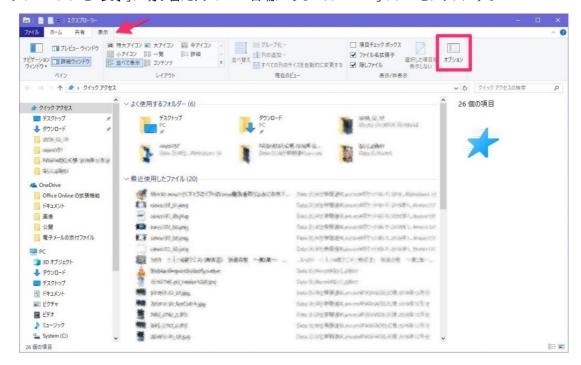
今回のテキストはWindows10の操作に関して記載しています。Windows7で違うところは茶色文字で記載してあります。

- 1. エクスプローラー
- 2. 起動時の操作
- 3. IME

- 4. ショートカット
- 5. 言語バーを表示する

【具体的内容:-即効テクニック -】

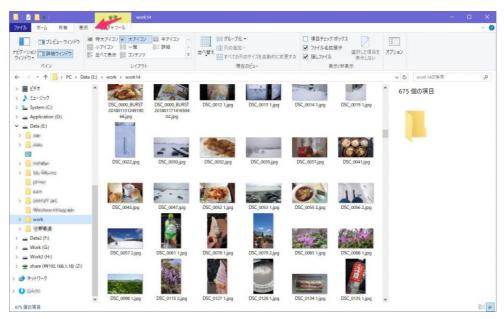
- 1. エクスプローラー (Windows7 では実行する必要ありません)
- A) 起動時の表示をPCにする
- ① エクスプローラーを起動する
- ② リボンのタブを「表示」に切り替え、リボンの右端にある「オプション」ボタンをクリックする



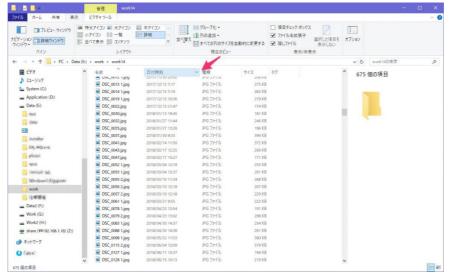
- ③ 「フォルダー オプション」のウィンドウが開くので、「全般」タブの一番上、「エクスプローラーで開く:」の後ろのプルダウンメニューで選択を行なう。
- ④ メニューには「クイックアクセス」と「PC」があるので、こちらで「PC」を選択して「OK」ボタンをクリックする。



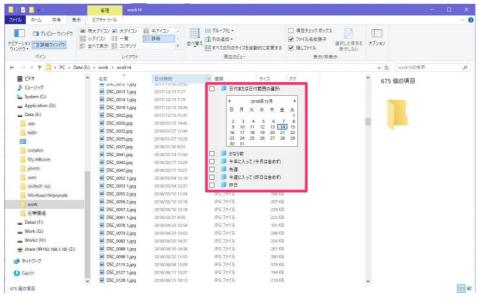
- ⑤ エクスプローラーを起動すると、デフォルトで開かれるのは PC の内容になる。
- B) 更新日付による絞り込み
- ① エクスプローラーで目的のフォルダーを開く。
- ② リボンのタブを「表示」に切り替える。



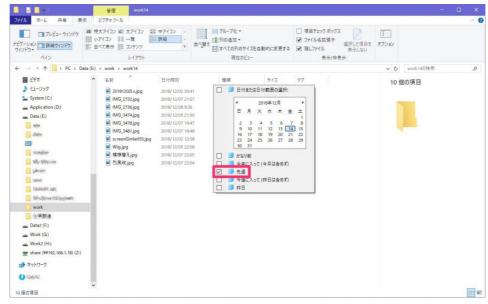
- ③ 表示方式を「詳細」に変更する
- ④ 「日付時刻」のフィールドにポインターを重ねたときに出る「v」の部分をクリックする



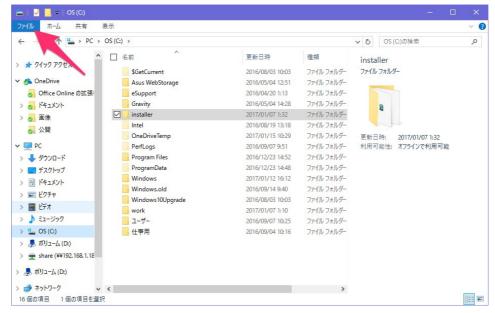
- ⑤ カレンダー表示を含むサブウィンドウが開く。
- ⑥ しばらく待つと簡易的な絞り込みパターンが表示される。



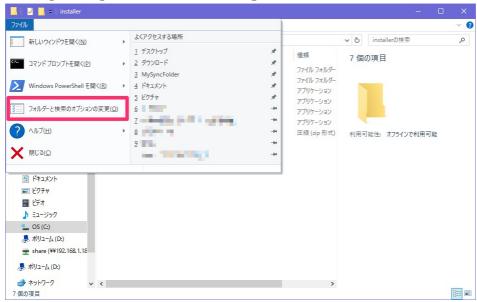
- ⑦ こちらをチェックすることで用意されたひな形にそったファイルの絞り込みが可能になる。またカレンダーで 日付を使ってオリジナルの絞り込み条件を設定することも出来る。
- ⑧ ひな形にある「先週」の絞り込みを使うと、こんな形で表示するファイルを限定することが出来る。



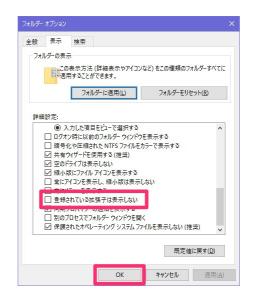
- ⑤ この絞り込みで作業の時系列ごとに対象となるファイルを絞り込んで発見、利用がやりやすくなる。
- C) 登録済み拡張子の表示 Windows でのファイル管理では、ファイル名の後ろに「.(ピリオド)」をはさんで、ファイルの種類を表す 4(3) 文字が一番後ろについている。これが「拡張子」です。
- ① 拡張子の設定画面はリボンを閉じた状態のエクスプローラーでは、「ファイル」のメニューから開く。



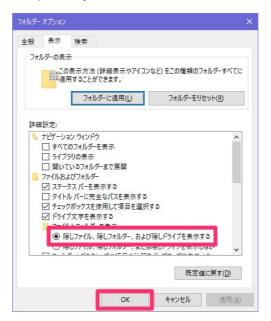
- ② ファイルのメニューの中の「フォルダーと検索のオプションの変更」を選択する
- ③ 【Windows7 では】「ツール」-「フォルダー オプション」をクリック



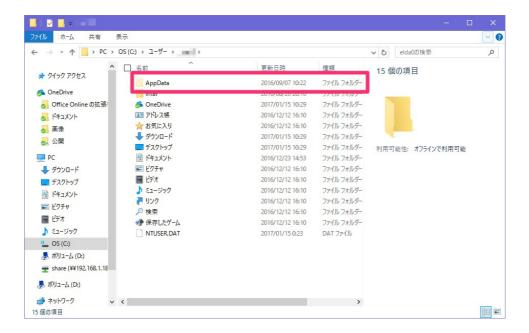
- ④ 「フォルダー オプション」のサブウィンドウが開くので、こちらから「表示」タブを選択する。
- ⑤ こちらの画面から「詳細設定」の中の「ファイルとフォルダーの表示」の中のラジオボタンで設定を行う。
- ⑥ 「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外すと、ファイルの拡張子がすべて表示される。



- D) 隠しフォルダーの表示
- ① 隠しフォルダーの設定も「フォルダー オプション」のウィンドウから行う。
- ② 「隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」にチェックをつけると、これらのアイテムがエクスプローラー上に表示されるようになる。



③ ユーザーの個別フォルダーの中身の一番上、「AppData」がここでは隠しフォルダーとなっている。



#### 2. 起動時の操作

#### A) GUI ブートを無効にする

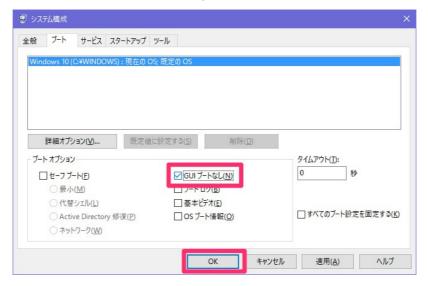
GUI ブートとは(グラフィカルユーザーインターフェースブート)の略で Windows 起動時に表示される Windows のロゴなどと一緒に、Windows が何か処理中であることを示す、小さな複数の円がグルグルまわる アニメーションの事を言う。この GUI ブートを無効にすることで起動時間の短縮が図れるケースがある。

GUI ブートを無効にするには、Windows の起動時の各種処理の設定などを行う「msconfig」ツールを使う。

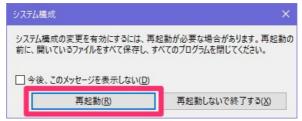
① Winodws キー+R キーを同時に入力すると、ファイル名を指定して実行のウィンドウが開くので、入力欄に「msconfig」といれて「OK」ボタンをクリックする



- ② 「システム構成」というウィンドウ名でmsconfigのウィンドウが開くので「ブート」タブをクリック。
- ③ ブートのタブを開くと「ブート オプション」の中に「GUI ブートなし」のチェックボックスがある。
- ④ こちらにチェックを入れて「OK」ボタンをクリックする



⑤ 再起動を要求されるので、パソコンが再起動して問題ない状態であれば「再起動」ボタンをクリックする

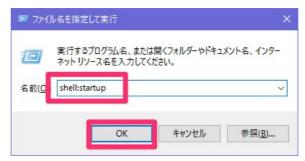


⑥ この設定を行なったあとは、起動時に円がクルクルアニメーションする処理が省かれる。

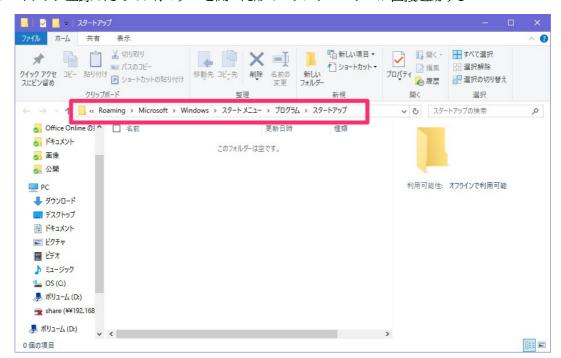
## B) スタートアップフォルダーにアプリのショートカットを登録

Windows 起動時にアプリを自動で起動させるには、基本的にスタートアップフォルダーに目的のアプリのショートカットをコピーするだけで良い。

- ① Windows キー+X、または、スタートボタンを右クリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選ぶ。Windows キー+R の入力で呼び出しても良い。
- ② ファイル名を指定して実行の入力欄に『shell:startup』と入力して「OK」ボタンをクリックする

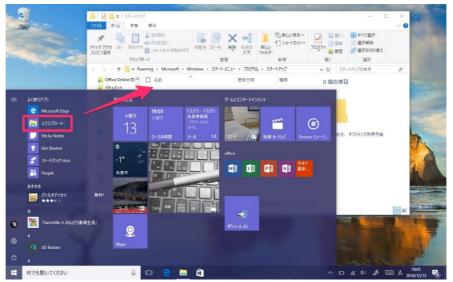


③ スタートアップ登録のためのフォルダーを開いた形のエクスプローラーが直接起動する

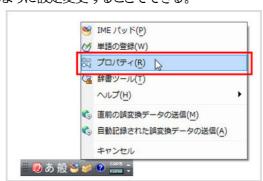


- ④ 実際のフォルダーは、『C:¥Users¥ユーザー名¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥Startup』
- ⑤ 日本語版の Windows 10 のエクスプローラーでの見た目は、Start Menu が「スタートメニュー」、 Programs が「プログラム」、Startup が「スタートアップ」と、カタカナ表記になっている。
- ⑥ スタートアップのフォルダーが開いたら、そこに目的のアプリをドラッグアンドドロップする。
- ⑦ スタートメニューに登録されているアプリならば、スタートメニューからドラッグアンドドロップしても大丈夫。 自動でショートカットが作成される。

- ⑧ ここではエクスプローラーをスタートアップに登録してみる。
- ⑤ 「よく使うアプリ」に表示されているエクスプローラーのアイコンを、スタートアップのフォルダーにドラッグアンドドロップする。



- (1) エクスプローラーのショートカットが作成される。
- ① これで登録完了。
- ② Windows を再起動すると、次回からは自動でエクスプローラーが起動するようになる。
- 3. IME
- A) 半角スペースの挿入
- ① 日本語入力を続けながら「Shift」キーを押して「スペース」キーを押す。
- ② この操作で、半角スペースが挿入される。
- ③ 「スペース」キーを押すと全角スペースが挿入される。
- B) 変換操作を省いて自動的に変換・確定する
- ① 短めの読みで自動変換されるように設定変更することでできる。



② 言語バーの[ツール]ボタンをクリックしてメニューを開き、プロパティ]をクリックしてプロパティのダイアログボックスを開く。



- ③ [変換]タブの[自動変換を行うときの未変換文字列の長さ]で[短め]をオンにして、[OK]ボタンをクリック。
- ④ 次のように入力していくと、順次変換ができるようになる。

「たいむましんでかこにもどり、ひとつだけやりなおせるとしたら、なにをするか。」」。

タイムマシンで過去に戻り、一つだけやり直せるとしたら、何をするか。

4. ショートカット

キーボード操作だけで Windows を操作できる。

- A) 「Win+S」:アプリの起動 (Windows7 にはこの機能がない)
- B) 「Win+X」: 設定や機能 (Windows7 にはこの機能がない)
  - ① 「Win+X, A」:PowerShell(管理者として実行)
  - ② 「Win+X,F」:アプリと機能
  - ③ 「Win+X, G」:コンピューターの管理
  - ④ 「Win+X,K」:ディスクの管理
  - ⑤ 「Win+X, M」:デバイスマネージャー
  - ⑥ 「Win+X, N」:設定
  - ⑦ 「Win+X,T」:タスクマネージャ
  - ⑧ 「Win+X, U, U」:シャットダウン
  - ⑨ 「Win+X, U, S」:スリープ
  - ⑩ 「Win+X, U, R」:再起動

  - ② 「Win+X, Y」:システムのプロパティ
- C) 「Win+E」:エクスプローラーの起動
  - ① 「Alt+F,数字」:エクスプローラー間の移動 (Windows7 にはこの機能がない)
- D) デスクトップ
  - ① 「Win+Tab」:デスクトップの表示 (Windows7 にはこの機能がない)
  - ② 「Win+D」:デスクトップの表示
  - ③ 「Win+Ctrl+D」:デスクトップの追加
  - ④ 「Win+Ctrl+右」:次のデスクトップへ
  - ⑤ 「Win+Ctrl+左」:前のデスクトップへ
  - ⑥ 「Win+Ctrl+F4」:デスクトップを閉じる
- E) 「Win+P」:プレゼンテーション用の外部プロジェクターを表示

5. 言語バーを表示する IME 言語バーがデスクトップにもタスクバーにも表示されないとき、次の手順で復活させる。

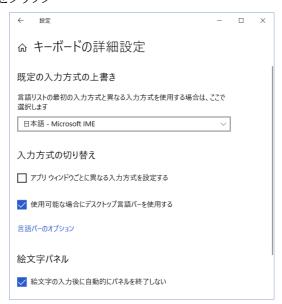
### A) Windows7 の場合

【[Windows 7] 言語バーを表示する方法を教えてください。 - FMV サポート:富士通パソコン】 https://www.fmworld.net/cs/azbyclub/ganavi/jsp/gacontents.jsp?PID=2108-5866

- B) Windows10 Ver1803 の場合 【Windows10 - IME デスクトップ言語バーを表示する方法 - PC 設定のカルマ】 https://pc-karuma.net/windows-10-display-language-bar/
- C) Windows10 Ver1809 の場合
- ① 「スタート」-「設定」-「デバイス」-「入力」をクリック



② 「キーボードの詳細設定」をクリック



③ 「言語バーのオプション」をクリック



④ 「言語バー」タブで上図のように設定して「Ok」をクリック

以上